Canon

キヤノン トライポッドグリップ

HG-100TBR

J

詳細ガイド

はじめに

トライポッドグリップ HG-100TBRは、装着されたワイヤレスリモートコントローラー BR-E1でカメラを操作しながら撮影ができるハンドグリップです。グリップ部は拡げると三脚として使用することもできます。また、付属のマイクアタッチメントを使用して、別売のステレオマイクロホンなどの外部マイクを、アクセサリーシューのないカメラに取り付けることができます。なお、マイクアタッチメントは、縦位置で動画撮影が可能なカメラにも対応しています。

はじめに必ずお読みください

事故を未然に防ぐため、はじめに『安全上のご注意』(p.3) をお読みください。また、本書をよく読んで正しくお使いください。
また、ワイヤレスリモートコントローラー BR-E1の使用説明書も併せてお読みください。

付属アクセサリー

- ワイヤレスリモートコントローラー BR-E1
- リストストラップ
- マイクアタッチメントL
- マイクアタッチメントS

* 付属アクセサリーは、なくさないように注意してください。

使用可能なカメラについて

以下のカメラを使用することができます（2019年10月時点）。

- PowerShot G5 X Mark II
- PowerShot G7 X Mark III
- EOS M200
- EOS Kiss M
- EOS M6 Mark II

* 2019年10月以降に発売されるカメラの、HG-100TBRへの対応状況については、カメラの使用説明書を参照してください。

- 本製品の耐荷重は1kgです。カメラ、レンズなどを取り付けた時の質量が1kgを超えないようにしてください。耐荷重を超えた状態で使用すると、製品が破損する恐れがあります。

本使用説明書の表記について

本文中の絵文字について

（p.＊＊）：参照ページを示しています。

：撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項を記載しています。

：補足説明や補足事項を記載しています。

安全上のご注意

安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。
お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

⚠警告 死亡や重傷を負う恐れがある内容です。

- 乳幼児の手の届くところに置かない。

ストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。
部品を飲み込むと危険です。飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。

- 分解や改造をしない。
- 強い衝撃や振動を与えない。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。

⚠注意 傷害を負う可能性がある内容です。

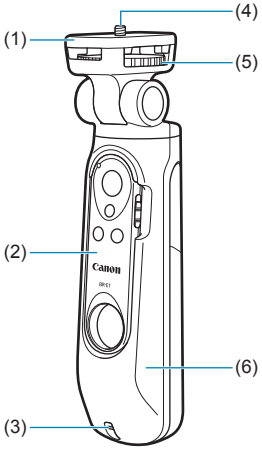
- 製品を高温や低温となる場所に放置しない。

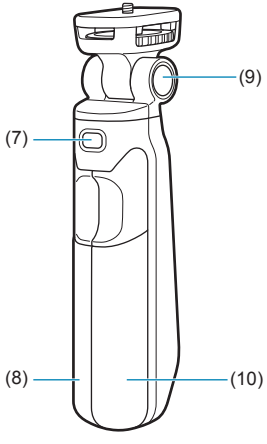
製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となります。

- ストラップ使用時は、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えない。
- 製品の内部には手を入れない。三脚足を開閉するときは、指などをはさまない。

けがの原因となります。

各部の名称

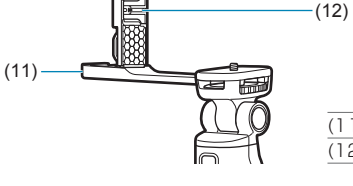




(1) カメラ台座
(2) ワイヤレスリモートコントローラー BR-E1
(3) ストラップ取り付け部
(4) 三脚ねじ
(5) 着脱ダイヤル

(6) 本体
(7) 左右回転ロック解除ボタン
(8) 三脚足R
(9) 前後回転ロック解除ボタン
(10) 三脚足L

付属アクセサリー

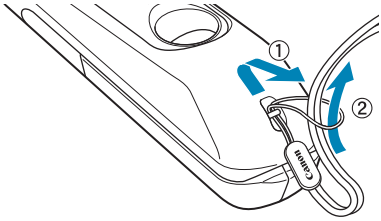


(11) マイクアタッチメントL
(12) マイクアタッチメントS

準備する

リストストラップの取り付け

● 付属のリストストラップを本体のストラップ取り付け部に取り付けます。

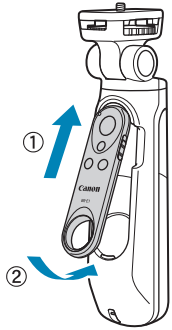


カメラとBR-E1のペアリング

● お使いのカメラとBR-E1の使用説明書をご参照ください。

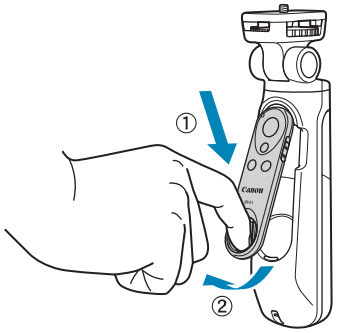
BR-E1の取り付け

● BR-E1を斜めにし、本体（ゴム部）に押し当てます（①）。
● 本体に押し当てた状態で、BR-E1を本体側に倒して取り付けます（②）。



BR-E1の取り外し

● BR-E1の図の部分（ストラップホール）に指先をかけ（①）、外側に引いて取り外します（②）。

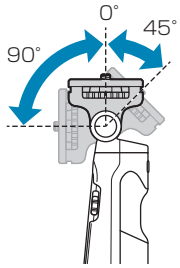


● BR-E1を取り外したあとは、ストラップホールに指を入れないでください。

カメラ台座の角度調整

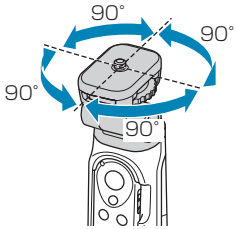
カメラ台座の傾き調整

- 前後回転ロック解除ボタンを押したままにします。
- 15°ごとに固定可能です。
- 角度調整後はロックボタンから指を離します。



カメラ台座の回転

- 左右回転ロック解除ボタンを押したままにします。
- 90°ごとに固定可能です。
- 角度調整後はロックボタンから指を離します。

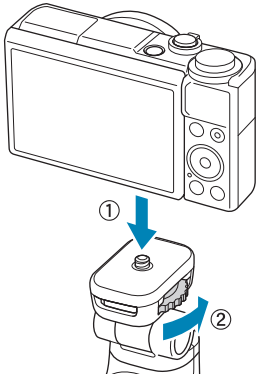


- カメラをカメラ台座に取り付けた状態では、指をはさんだり落としたりしないようにカメラを手で支えてからカメラ台座の傾き調整や回転を行なってください。
- 前後左右回転の角度を変更する場合は、指をはさまないように操作部周辺に指を置かないでください。

カメラを取り付ける

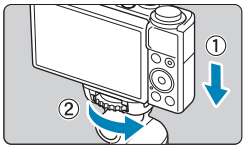
横位置撮影

- カメラのモニターとBR-E1の操作面が同じ向きになるようにして、三脚ねじをカメラの三脚ねじ穴に入れます（①）。
- 着脱ダイヤルを回してカメラを固定します（②）。



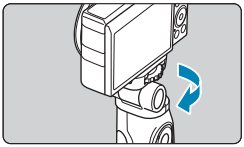
- 取り外す場合は、逆の手順で取り外します。

縦位置撮影

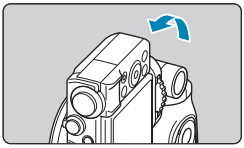


1 カメラのモニターが三脚足R側（p.4）になるようにして取り付ける

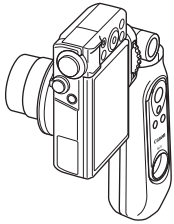
- 着脱ダイヤルを回してカメラを固定します。



2 カメラのモニターとBR-E1の操作面が同じ向きになるようにカメラ台座を回す



3 カメラ台座を90°傾ける

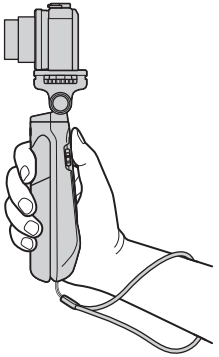


● 取り外す場合は、逆の手順で取り外します。

- カメラの電源を切った状態で取り付けてください。
- カメラ台座からカメラが外れないように、カメラの取り付けは確実に行ってください。
- カメラにバッテリーやメモリーカードを入れてからカメラ台座に取り付けてください。

グリップとして使用する

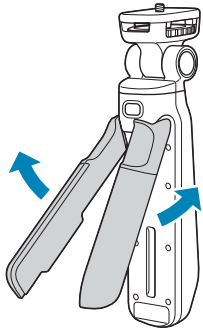
- 図のようにリストストラップを手首にかけてから握ります。
- BR-E1のボタンを押して撮影開始/終了します。



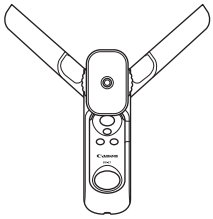
- 同梱のリストストラップをグリップのストラップ取り付け部に正しく取り付けてください。
- リストストラップだけを持って持ち運ばないでください。
- 前後回転ロック解除ボタン、または左右回転ロック解除ボタンが戻りきっていない場合はカメラ台座が固定されていません。
  前後回転ロック解除ボタン、または左右回転ロック解除ボタンが戻りきっていることを確認してください。
  ロック解除ボタンが戻りきっていないときは、ロック解除ボタンが戻る位置までカメラ台座を動かしてください。
- カメラによっては、角度を変えるとバランスが不安定になることがあります。バランスが安定する角度に調整してください（p.7）。

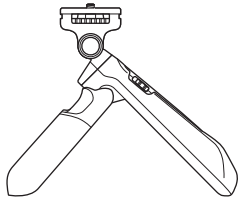
三脚として使用する

- 三脚足R/Lは手動で図のように開きます。
- 三脚足R/Lは完全に開いてください。
- 指などをはさまないように注意してください。

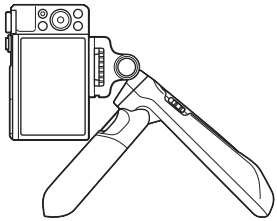


- 三脚足R/Lは端まで開いた状態で使用してください。
- 三脚が倒れないように、水平な場所に安定した状態で使用してください。





● 縦位置撮影時は、カメラ台座を図の状態にしてください。



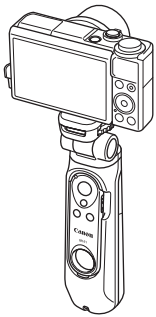
● 風が強いとき、設置する場所が振動しているときなど、三脚が倒れる恐れがあるときは、三脚を置いて使用しないでください。

● BR-E1を取り外してリモート撮影することをおすすめします（p.6）。

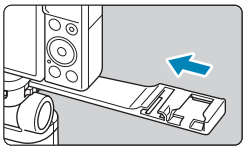
外部マイクを取り付ける

外部マイクは、カメラのアクセサリーシューに取り付けます。アクセサリーシューのないカメラは、マイクアタッチメントを使用して取り付けてください。アクセサリーシューのあるカメラでも、カメラの操作音やレンズの駆動音が気になるときは、マイクアタッチメントの使用をおすすめします。

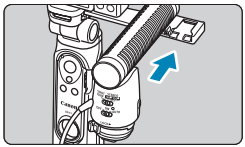
横位置撮影時



1 カメラを図のように取り付ける (p.8)

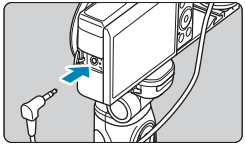


2 マイクアタッチメントLをカメラ台座に差し込む

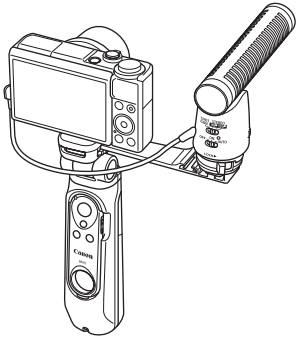


3 外部マイクをマイクアタッチメントLに取り付ける

- 外部マイクの取り付け方法は、使用する外部マイクの使用説明書を参照してください。



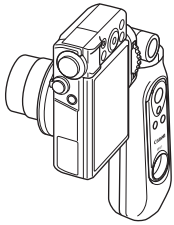
4 外部マイクの端子をカメラの外部マイク入力端子に取り付ける



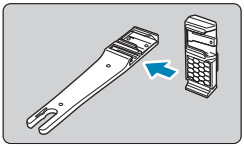
● 取り外す場合は、逆の手順で取り外します。

- ● マイクアタッチメントLに、外部マイク以外を装着しないでください。
- ● マイクアタッチメントLから外部マイクを取り外すときは、最初に外部マイクの端子を取り外してください。
- ● カメラ台座からマイクアタッチメントLを取り外すときは、取り外す方向に人や壁がないことを確認してください。

縦位置撮影時

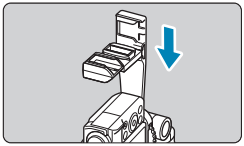


1 カメラを図のように取り付ける (p.8)

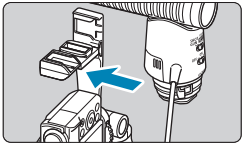


2 マイクアタッチメントSをマイクアタッチメントLに差し込む

- マイクアタッチメントSを逆向きに差し込まないでください。

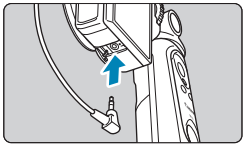


3 マイクアタッチメントLをカメラ台座に差し込む

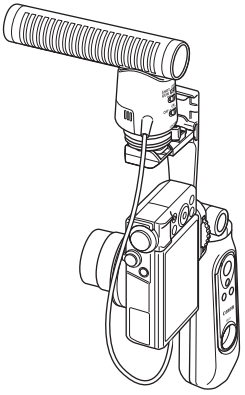


4 外部マイクをマイクアタッチメントSに取り付ける

- 外部マイクの取り付け方法は、使用する外部マイクの使用説明書を参照してください。



5 外部マイクの端子をカメラの外部マイク入力端子に取り付ける

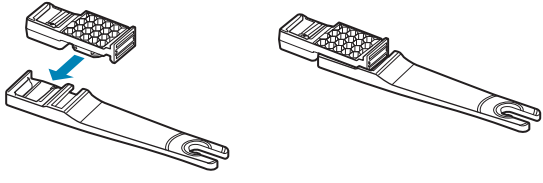


● 取り外す場合は、逆の手順で取り外します。

● マイクアタッチメントSに、外部マイク以外を装着しないでください。
● マイクアタッチメントSから外部マイクを取り外すときは、最初に外部マイクの端子を取り外してください。
● カメラ台座からマイクアタッチメントLを取り外すときは、取り外す方向に人や壁がないことを確認してください。

マイクアタッチメントの収納

マイクアタッチメントを使用しないときは、マイクアタッチメントLとマイクアタッチメントSを図のように収納して保管することができます。



主な仕様

大きさ・質量

大きさ....グリップ状態：約　38.6（幅）×190.0（高さ）× 43.4（奥行）mm
　　三脚状態：　約172.4（幅）×148.5（高さ）×174.1（奥行）mm
質量.....約179 g（本体およびBR-E1）/約163 g（本体のみ）

- 記載データはすべて当社試験基準によります。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

保証期間と修理対応について

本製品の保証期間は一年です。保証期間内に本製品が万一故障した場合は、購入の証明となるもの（領収書、納品書等）を製品に添付のうえ、弊社修理受付窓口もしくはお買い上げ販売店にご持参ください。無料で修理または交換いたします。詳しい保証内容につきましてはキヤノンHPにてご確認ください。

Canon

本書の記載内容は2019年8月現在のものです。なお、最新の使用説明書については、キヤノンのホームページをご覧ください。

CT2-D051-A
© CANON INC. 2019